

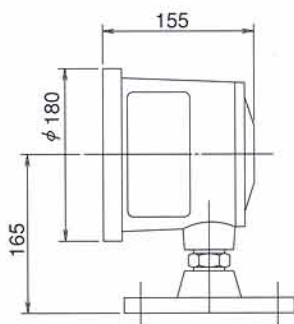
一般にいうレベル計、あるいは指針式液面計と呼称されている計器類が、今日程広く普及し、各種の液面測定に用いられ、計量管理に貢献しているのは、周知のことです。

理由はいろいろありますが、省力化に伴い計装設備の自動化、集中監視、記録、計算、遠隔指示、制御、又は警報用信号等々が非常に合理的に組み込まれ、需要先の用途、目的と合致した機構を兼ねそなえているからだと思います。

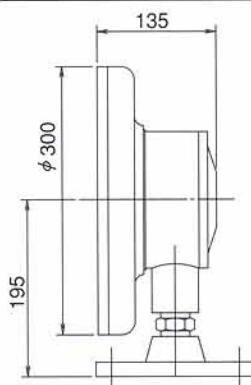
幸い各方面に広く御利用頂き、多くの実績のもと、増々お役に立てればと、以下代表的機種を御紹介し、製品の御案内を申し上げます。



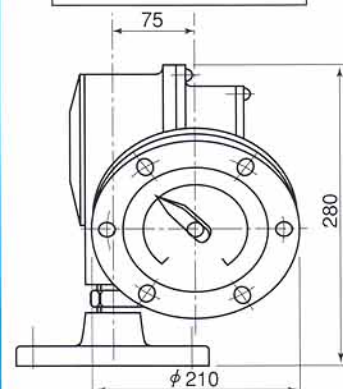
LG-100



LG-900



LG-700



用途によるメーカーの代表的検出方式の推奨例

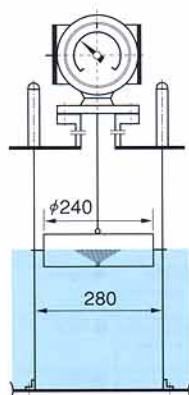
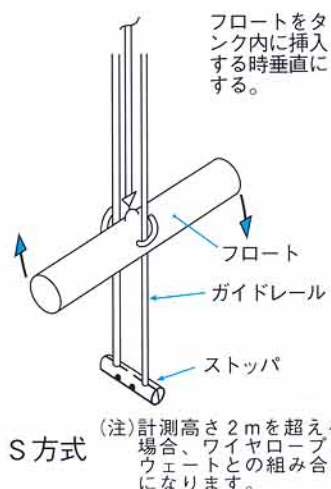
用途	代表的検出方式
大気圧、温度40℃以下	S方式、SS方式
圧力0.5MPa以下、温度120℃以下	MS (MJ) 方式
圧力0.5~3.0MPa、温度120℃以下	MH方式
船舶用、温度120℃以下	MS (MJ) 方式、MF方式
攪拌槽、温度60℃以下	SG方式、SD方式
大気を汚染する薬品、溶剤等	MS (MJ) 方式、MF方式、V (U) 方式
地下燃料タンク等	MS (MJ) 方式
プロパン、ブタン、アンモニア等	MH方式
密閉真空槽	MF方式
ピット、排水貯槽等	SS方式、SG方式、MS (MJ) 方式

注意事項

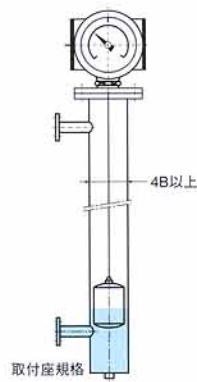
- レベルを計測する手段として、フロートと計器への伝達に薄い帯鋼 (0.07t, 0.2t) を用いています。この帯鋼は、カミソリの刃に相当しますので、計器の取扱いには、呉々も御留意下さい。
- フロートには、液中に沈む部分と、空気中に出ている部分とがあります。この境界を喫水線と称します。したがってフロートのこの喫水線に迄液位が上昇して初めて計器は作動します。タンクが空であるにもかかわらず指針が零を指さない理由です。

代表的検出方式

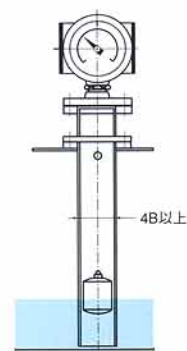
(注) この計測方法は、LG-102, LG-202, LG-502, LG-800, LG-902以外の全てに適用されます。



SS方式



SD方式



SG方式